



活動は会員に支えられています

河北潟湖沼研究所の日常的な活動に使われる資金の財源は、会員からの会費です。非営利活動に必要な資金を得るために、収益活動もおこないますが、その利益は、研究活動や専従者を配置するために使われます。

また、河北潟湖沼研究所は、行政や企業からは独立した民間の非営利団体（NPO）です。行政や企業からの助成や寄付は受け付けていますが、環境保全をおこなう上で特定の組織に依存することは適切ではありません。会員からの会費によって支えられてこそ、河北潟湖沼研究所がNPOとしての力を発揮することができます。

河北潟湖沼研究所の会員になろう

どなたでも会員になることができます。

河北潟湖沼研究所は、NPOとしての組織活動、地域活動、研究活動をおこなうために3つのユニットで活動しています。多くの方に活動に加わっていただけるよう、それぞれ会員を募集しています。3つの中からご希望に合うタイプをお選びいただき、つぎのページ（見開き）をご覧ください。

河北潟湖沼研究所
の活動・運営に積極的に関わりたい。

河北潟の環境を守る活動や、環境学習の活動に参加したい。

調査・研究をおこないたい。機関誌を購読したり、論文を投稿したい。

法人の会員へ

友の会会員へ

研究会会員へ

特定非営利活動（定款の一部を抜粋）

- ・河北潟の生態系および周辺環境に関する基礎的データの収集と科学的研究
- ・生態的・経済的・社会的・住民生活及び文化的環境設計による河北潟の改良と維持に関する調査・研究及び提言
- ・潟の管理及びモニタリングシステム等の潟を中心とする環境科学全般に関する技法の開発
- ・公開講座（シンポジウム、講演会、セミナー等）を通した地域住民及び社会への研究成果の公開と公聴

会員にならなくても、寄付金による協力、（活動支援）をいただくことはできます。

寄付は隨時受け付けています。

寄付金は、河北潟湖沼研究所の活動全体への支援として、活動の必要経費にあてられます。

振込先 金融機関 ゆうちょ銀行（振替口座）

口座番号 0730-1-48345

加入者名 特定非営利活動法人 河北潟湖沼研究所

郵便局に備え付の払込用紙またはゆうちょ銀行口座より振り込みできます。
通信欄に『寄付金』とご記入ください。振込手数料はご負担ください。

会員になると



☆ 機関誌『河北潟総合研究』が年1回届きます。
 ☆ 通信「かほくがた」（年4回）により情報が得られます。
 ☆ 河北潟カレンダーがもらえます。
 ☆ 河北潟湖沼研究所のイベントや活動の案内が届きます。

入会申込書

【会員種別】 入会希望の会員区分を○でお囲みください。

法人会員	(個人会員)	・ 団体会員)
友の会会員	(普通会員)	・ ジュニア会員)
	(賛助会員)	□)

研究会会員

【会員種別】 登録にあたっての必要事項をお書きください。

フリガナ _____
 氏名 _____
 住所 _____
 電話 () - -
 ファックス () - -
 メール _____
 機関誌等送付先のご住所が異なる方は下記にお書きください。
 〒 _____
 通信欄 _____
 申込日 年 月 日 _____

特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所
 理事長 高橋 久 殿
 特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所に入会を申し込みます。

入会申込書をコピーまたは切り取って、FAX 076-255-6941まで、あるいは、メールで info@kahokugata.sakura.ne.jp までお送りください。ホームページhttp://kahokugata.sakura.ne.jp からも申込書をダウンロードできます。

河北潟 revive

地域に根ざした研究機関をめざします



あなたも河北潟の活動に参加しよう！
いろいろな参加の方法があります。

入会・支援のご案内



N
NPO法人 河北潟湖沼研究所

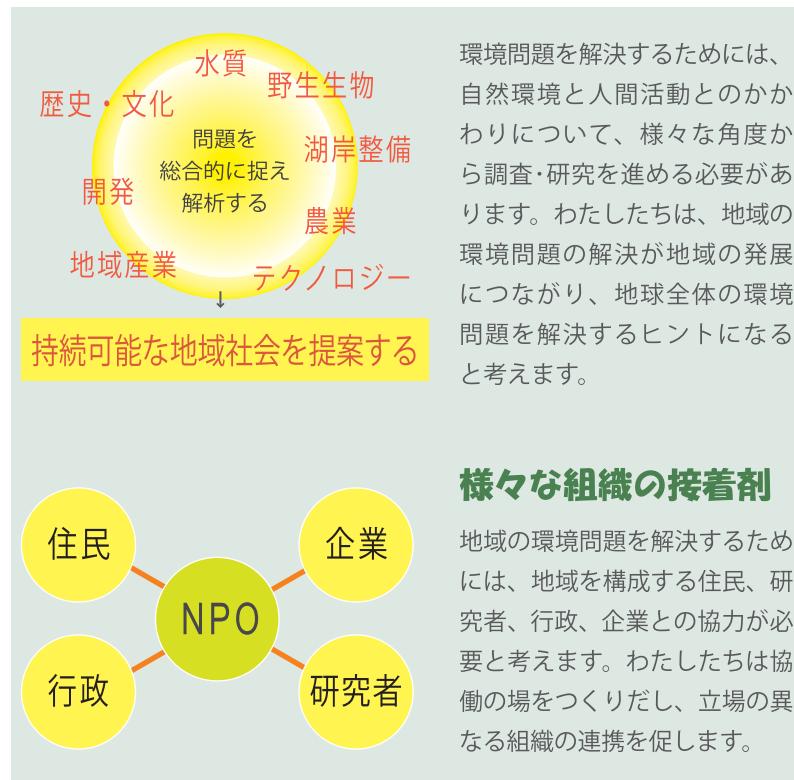
〒920-0342
 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9
 tel 076-288-5803
 fax 076-255-6941
 e-mail info@kahokugata.sakura.ne.jp
 URL http://kahokugata.sakura.ne.jp

NPO法人 河北潟湖沼研究所とは？

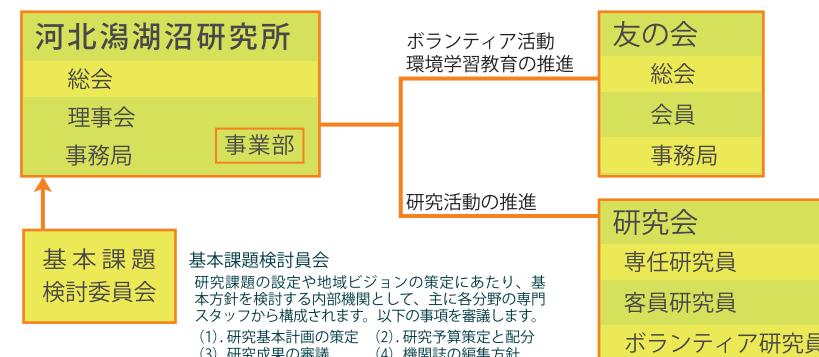
河北潟湖沼研究所は、河北潟の環境を回復させようと、多くの住民、研究者、企業の代表者が集まって1994年10月に設立されました。1999年8月に石川県で2番目のNPO法人として認可を受け、同年10月に法人格を得ました。地域に根ざした研究機関を目指して、1) 河北潟とその周辺地域の環境の現状を把握すること、2) 河北潟と周辺地域の環境保全と地域振興に関する研究をすすめます。

活動の目的

河北潟および周辺地域の環境保全と地域振興などに関する事業を通じて、地域の経済的、社会的、文化的発展に資することです。



組織のしくみ



研究活動の推進と実践活動の活発化のために、法人組織とは別の枠組みで、研究会と友の会をつくっています。研究会はおもに研究者により構成される組織、友の会は市民により運営される組織となることをめざしています。

河北潟湖沼研究所は、環境保全のための調査・研究などの非営利活動とともに、活動の支えとなる収益事業、広報や出版、イベントを通じて社会へのアピールなど、環境分野のNPO法人として、多分野にわたる活動をおこなっています。



継続中の調査研究活動

- 機関誌「河北潟総合研究」発行 (1997年~)
- 河北潟将来構想の作成 (1999年)
- 河北潟周辺の生物調査 (1999年~)
- アサザビオトープの設計・生物調査 (2000年)
- ミサゴ営巣状況調査 (2000年~)
- 河北潟西部承水路調査 (2002年~)
- チクゴスズメノヒエの調査および除草活動 (2005年~)
- 河北潟干拓地生態調査 (2006年~)
- 河北潟干拓地における外来植物調査 (2009年~)
- チクゴスズメノヒエ堆肥の性能実験 (2010年~)

地域活動のあゆみ

- 河北潟自然保護学校開校 (1995年、96年) 年7回の講座
- 河北潟共和国の開催 (1995年、96年)
- 河北潟湖沼研究所通信発行 (1995年~)
- 河北潟自然観察会の開催 (1998年~)
- 河北潟湖沼研究所創立5周年イベント開催 (1999年)
- 河北潟将来構想パンフレットの発行 (1999年)
- 河北潟カレンダー発行 (2000年~)
- アサザビオトープの設計と保全活動 (2000年~)
- 河北潟・干拓地の有効な利用シンポジウム開催 (2002年)
- 河北潟自然再生協議会の発足に参加 (2002年~)

- 河北潟と干拓地の将来を考えるシンポジウム開催 (2003年)
- 環境省モデル事業受託、外来植物除草活動 (2005年、06年)
- グリーン・アース河北潟の構成団体として参加 (2006年)
- 河北潟地区外来植物対応方策検討会に参加 (2007年)
- 農水省パイロット事業の受託、外来種除草活動 (2008年、09年)
- 琵琶湖視察バスツアーの開催 (2009年)
- 河北潟湖面利用協議会の発足に参加 (2010年~)
- 河北潟自然再生まつり実行委員会へ参加 (2010年)

法人の会員

会員は、特定非営利活動促進法上の社員となります。

○河北潟湖沼研究所の定款に掲げる目的に賛同する個人及び団体は、どなたでも会員になることができます。

別紙の入会申込用紙にご記入の上、理事長（事務局宛）までお申し込みください。

年会費	個人会員	12,000円
	団体会員	24,000円

☆定款に、総則、会員、資産及び会計、役員及び理事会の設置、顧問、理事会、総会、事務局、定款の変更、解散及び合併、広告の方法等について記載されておりますので、内容をご確認ください。

友の会会員

だれでも気軽に参加できる枠組みです。

友の会の目的：河北潟湖沼研究所の活動を広く普及し、環境教育を推進するために、さまざまなイベント、学習会、観察会を企画します。環境保全、地域振興などに関する一般市民の意見を集約し、活動に反映することをめざします。

年会費	普通会員	2,000円
	ジュニア会員	1,000円 (高校生未満)
	賛助会員	20,000円 (1口から)

○会費を納めた方は、どなたでも会員になります。
別紙の入会申込用紙にご記入の上、事務局までお申し込みください。

☆会員の自主的で創意あふれる運営をめざします。会員になると、研究所の活動の案内、機関誌や通信などの刊行物が届きます (ジュニア会員は除く)。

企業のみなさまへ

河北潟湖沼研究所は、環境分野としては石川県で初めて認定されたNPO法人です。石川県内あるいは北陸地域を事業活動の一つの拠点とされている企業のみなさまに、活動へご参加いただきたいと考えています。現在の環境問題の具体的な解決には、市民や研究者だけでなく、企業や行政との適切なパートナーシップの確率が重要です。社会的な影響力をもっている企業のみなさまに河北潟湖沼研究所の団体会員になっていただくことは、地域の環境問題を解決する上で大切なことであると考えます。

河北潟湖沼研究所との連携を考える企業のみなさまは、ぜひとも入会をご検討ください。地域の環境保全と産業の持続的発展のための研究及び実践活動を共に推進していきたいと考えます。

年会費	団体会員 (法人会員)	24,000円
-----	-------------	---------